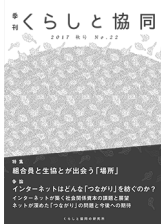


季刊号



2017 秋号 (第 22 号)

2017.09.25 発行

特集

組合員と生協が出会う「場所」

座談会

インターネットはどんな「つながり」を紡ぐのか？



2017 春号 (第 20 号)

2017.03.25 発行

特集

いま、農協はどうなっているのか？

～協同組合としての JA に学ぶ

争論

農協はどうなる、どうする？



2016 秋号 (第 18 号)

2016.09.25 発行

特集

事業における「協同」の多様性に学ぶ

争論

協同組合が地域「経済」に果たす役割の再検討



2017 夏号 (第 21 号)

2017.06.25 発行

特集

社会問題に挑む研究所

座談会

生協に関わる研究所のあり方を考える



2016 冬号 (第 19 号)

2016.12.25 発行

特集

できることを活かすソーシャルインクルージョン

座談会

高齢化する生協組合員の実態～共同購入を中心に



2016 夏号 (第 17 号)

2016.06.25 発行

特集

大学生協の変遷と新たな可能性

争論

事業連合化における独自性を問う

増刊号



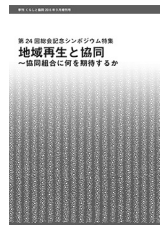
2017 年 9 月増刊号

2017.09.25 発行

第 25 回総会記念シンポジウム特集

地域再生と協同

～協同組合に何を期待するか



2016 年 9 月増刊号

2016.09.25 発行

第 24 回総会記念シンポジウム特集

地域再生と協同

～協同組合に何を期待するか

編集後記

メディアでは、ついに日本でもアマゾンが生鮮食品の宅配に乗り出したとか、セブンイレブンもアスクルと組んでそれを迎え撃つとか、生活協同組合がこれまで数十年かけて築き上げてきた事業をあっという間に凌駕するかなのようなビジネスのプランが飛び交っています。生産者や配送従事者はどうにでもなるといわんばかりの粗雑な構想であるようにも感じますが、時間指定をして数時間待つだけで自宅に何でも届けられるというような時代が、本当にやってくるのでしょうか。そうした究極の利便性の犠牲になるのは、今度は誰なのか、気になります。(志)

季刊 **くらしと協同** 2017 冬号 (第 23 号) 2017 年 12 月 25 日 発行

編集企画 | 『くらしと協同』編集委員会

電 話 | 075-256-3335

編集長 | 杉本貴志

F A X | 075-211-5037

発行所 | くらしと協同の研究所

E-mail | kki@ma1.seikyoku.ne.jp

理事長 | 若林靖永

U R L | <http://kurashitokyo.do.jp>

住 所 | 京都市中京区烏丸通二条上る蒔絵屋町 258 コープ御所南ビル 4F (〒604-0857)